

2016年6月7日(火)～6月10日(金)の4日間、東京ビッグサイトにて国際食品工業展【FOOMA JAPAN 2016】が開催されました。

日本最大級の展示会の一つとして今年も国内外から多くの来場者がありました。弊社ブースへご来場頂いた皆様には心より御礼申し上げます。

開催報告によると、今回の FOOMA JAPAN2016 の来場者数は下記の通りです。

6月7日(火)	雨/曇り	19,918名
6月8日(水)	曇/晴れ	25,050名
6月9日(木)	雨/曇り	25,539名
6月10日(金)	晴れ	23,990名
合計		94,497名

FOOMA JAPAN2016 公式 HP

<https://www.foomajapan.jp/2016/>

曇りや雨の日が多く足元の悪い中にも関わらずたくさんの皆さまにお越しいただきました。

今年の弊社ブースでは、粉碎機、分級機、混合機、計量機と食品粉体に関わる一連の機種を展示及び実演し、原料から粉になるまでの過程を表現することを目標としました。特に以前から興味のある方には動いている機械を目にいただき、好評をいただくことが出来ました。



粉碎、分級、計量とエリアを作り、英語表記も入れました。海外からのたくさんの方がブースに来ていただきました。

弊社の展示機の紹介

①フェアリーパウダーミル

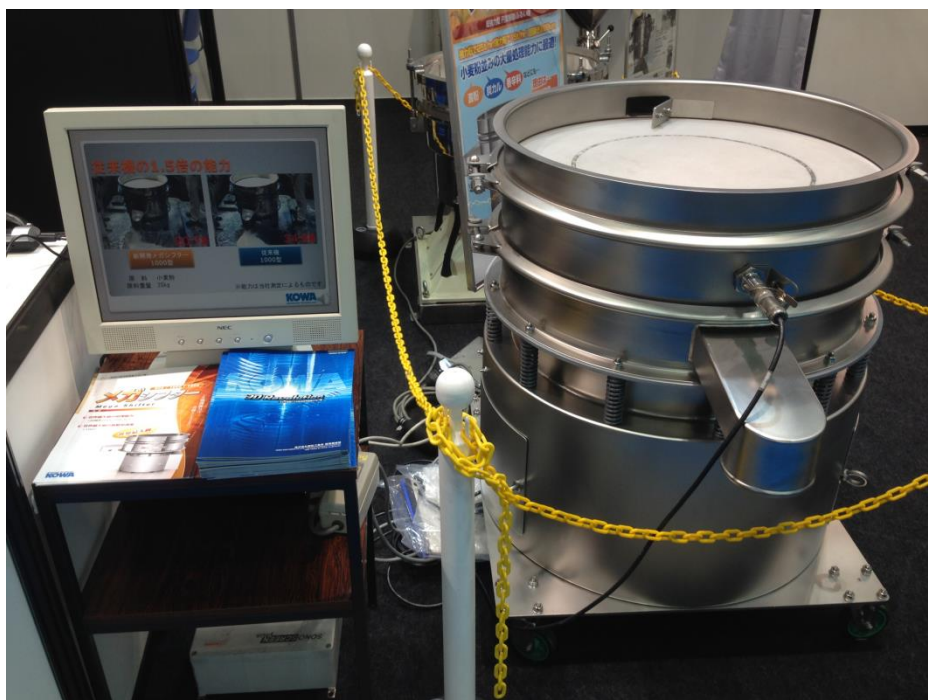


経済産業省 ものづくり補助金開発で次世代粉砕機としてコンセプトモデルを出展しました。大阪府立大学との共同開発となります。

FOOMA JAPAN では初出展でしたが、多くの方に見ていただき、直にでも導入したいとのお話もいただきました。また小型機で輸出も容易なため、海外へのお引き合いも多数いただくことが出来ました。

まだ開発途中ですが、引き続きこれからもメルマガやホームページにて情報を発信していきます。

②振動ふるい機



超音波、リバース型、大処理能力【メガシフター】と様々なバリエーションがあります。超音波による目詰まり防止機工は昨今の食品原料の微粉碎化において大変効果が期待出来ます。また、リバースを用いることで分級精度を更に良くすることも可能です。超音波の微振動を、実際に網を触っていただくことで体感いただき、テストのご依頼をいただくことが出来ました。株式会社興和工業所の梅田様には大変お世話になりました。この場を借りまして御礼を申し上げます。

振動ふるい機と比較のため、MINOX シフターも出展しました。動き方が全く異なるため、比較していただくことが出来ました。原料や目的に応じふるい機を選定することが重要であります。並べて展示することで多くの方に興味をもっていただくことが出来たと思います。

③計量充填機と混合機



今年の見玉の出展機の一つです。

小袋や瓶などへの計量充填機【エヌパックスケール】や今回初出展となる【計量器付き輸送機】、サニタリー性を追求した【立型サニタリーミキサー】、簡易空輸装置【フレキフィーダー】を展示、実演をしました。

小袋計量充填では、現在人手で行っているが作業員が辞めて困っている。又は、人手の作業によるコンタミのリスクを回避したいなど、機械化を検討している方は非常に多く、たくさんの方々にお引き合いをいただくことが出来ました。

混合機は、立型サニタリーミキサーの他に V 型混合機も展示しました。尚、通常のリボンミキサーも弊社では製作しております。

混合、搬送、計量充填でご相談がありましたら是非弊社までお問い合わせください。

④出展社プレゼンテーションセミナー



今年も6月8日（水）13時10分からプレゼンテーションセミナーを行いました。

72名と多くの方々に参加いただき誠にありがとうございます。

『米粉のニシムラの取組み最新製粉技術情報とアジア展開実績発表』をテーマに発表いたしました。

特に、【フェアリーパウダーミル】や【海外展開】に関して、多くのご質問をいただき関心の高さを実感しました。

発表をお願いしました Komeko50 研究会代表、NPO 国内産米粉促進ネットワーク副理事の萩田様には御礼申し上げます。

最後になりますが、弊社ブースやプレゼンテーションセミナーへご来場、ご参加いただいた皆さま、弊社にご協力いただきました皆さまには心より御礼申し上げます。

また、多くの方に来場いただいた為、十分な対応が出来なかった事もあるかと思えます。

ご質問等ございましたら、気軽に弊社までお問い合わせ下さい。

今後ともよろしく申し上げます。